

令和6年度K P I 実績報告資料

大洲市観光まちづくり戦略会議

目次

- ①MAP改訂
- ②ヘリコプター
- ③オーバーツーリズム対策
- ④分野・対象エリア拡大調査
- ⑤住民満足度調査

①MAP改訂

目的

既存の肱南エリアまち歩きマップを改訂し、観光施設や店舗の情報を正確に伝え、滞在時間の延長と消費額の向上を図るもの。

新規MAP(表・裏)



※Googleマップに掲載したことにより、QRコードを読み取ると多言語対応が可能となった。

②ヘリコプター

内容

災害時や平常時における移動手段として、民間ヘリコプターの活用の検討を行った。

実証実験及び体験会を行い、活用に関する意識醸成及び理解促進を行った。

実証・体験会日時及び人数

【実証】2024年6月10日（月）、6月11日（火）

参加人数：38名（市議会議員、大洲市民など）

【体験会】2024年9月30日（月）

参加人数：36名（市長、中学生、自治会自主防災部会、
観光事業者など）

※R7以降コンテンツとして提供予定

③オーバーツーリズム対策

内容

臥龍山莊において、ツアー客の増加などによって入館者数が増加し、庭園内の苔が踏まれる等オーバーツーリズムになりつつある。

この状況を改善するべく、大洲市とキタM（施設管理者）にて協議を行った。

実績

まちの駅あさもやバス駐車場に置ける事前予約体制の確立

④分野・対象エリア拡大調査

内容

観光エリアを肱南地区のみならず、周辺部へ拡大するため、関係者へのヒアリングを実施。

対象者

- ・ 農協 ・ 森林組合 ・ 漁協
- ・ 地域おこし協力隊（林業担当）
- ・ 河辺支所 ・ 肱川支所 ・ 長浜支所

ヒアリング結果

- ・ コンテンツはあるが、プレイヤーがいない。
- ・ 他エリアのコンテンツを、「Visit Ozu」への掲載を行う。
- ・ 連携は可能であるため、今後引き続き検討を行う。

⑤住民満足度調査

内容

肱南地区の住民を対象にアンケートを実施。
質問項目にて満足度を調査した。

結果：満足度 93%

問2

あなたは、大洲城下町の歴史的な町並みや建造物を将来にわたって保全していくために、歴史的建造物をホテルやレストランなどの観光まちづくり事業に活用することについて、どのようにお考えですか？該当する番号に1つに○を付けてください。

- 1 積極的に行っていくべきだと思ふ
33.7%(29人)
- 2 必要に応じて行っていくべき
59.3%(51人)
- 3 そのような必要性をあまり感じない
2.3%(2人)
- 4 そのような必要性を全く感じない
1.2%(1人)
- 5 興味がない、分からない
2.3%(2人)
- 6 その他 1.2%(1人)

住民の賛同意識 93%
1 (33.7%) + 2 (59.3%) = 93%

